
目次

.....

【1】 --- 本学発の論文新着速報 (2021 年 10 月・11 月分)

.....

【2】 --- 貴重書全文アーカイブに『病理各論』『傻麻室斯新論』『小學』追加

.....

【3】 --- 製本に伴う一部雑誌の利用停止について

.....

【4】 --- 年末年始の図書館利用について

.....

【5】 --- Web セミナー「電子ジャーナルの評価及びオープンアクセスの動向について」

.....

[Book Review] ・ ・ ・ 編集後記にかえて

【1】 --- 本学発の論文新着速報 (2021 年 10 月・11 月分)

.....

京都府立医科大学発の学術論文のうち、PubMed に収載された 2021 年 10 月・11 月発行の論文をお知らせします。(検索日 2021/12/10 216 件)

◆ ↓ 次の URL をクリックしてください ↓ ◆

<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/sites/myncbi/1FS3cNp9hWvAN/collections/61405550/public/>

この情報は以下の抽出条件のもとに月に 1 回お知らせしています。

- ①直近 2 ヶ月分
- ②論文の著者が本学所属

【2】 --- 貴重書全文アーカイブに『病理各論』『傻麻室斯新論』『小學』追加

.....

デジタルアーカイブ「[貴重書全文アーカイブ](#)」に新たに 3 点(12 冊)追加しました。

【[病理各論](#)】 ビョウリカクロン 明治 11 年(1878)

著者のマンスフェルト(Constant George van Mansveldt)は 1832 年生まれのオランダの医師。慶応 2 年(1866)来日。長与専斎(ながよせんさい)とともに長崎精得館(長崎大医学部の前身)で教師となり、維新後も厳格で精密な医学教育を行いました。(長与専斎は代々藩に仕える漢方薬医の家に生まれた医者で、ボンペやポートウィンとも関わりがあります)

また、熊本医学校では、日本の細菌学の父とよばれる北里柴三郎らを教え、後に京都府療病院(現京都府立医大)、大阪府病院(現大阪大)に勤めました。マンスフェルトは日本を愛し、赴任した長崎・熊本・京都などの写真を数多く残しましたが、日本の医学教育はオランダ語からドイツ語を求める時代となり、明治 12 年にオランダに帰国し、1912 年 80 歳で逝去しました。

本学図書館は『[マンスフェルトが見た長崎・熊本](#)』を所蔵しており、京都時代に学生と撮った写真が掲載されています。(2 階閲覧室 490.21|N)

【[倭麻壻斯新論](#)】 リュウマチス シンロン 明治 5 年(1872)

著者オースチン・フリント(Austin Flint)は 1812 年アメリカ、マサチューセッツ州に生まれます。曾祖父の代からフリントの孫に至るまで医者の家系でした。

フリントはハーバード大学卒業後、数々の大学で教鞭をとりました。明治元年に松山棟菴翻訳の『[壻扶斯新論](#)』が日本で出版されました。続いて明治 5 年には『[倭麻壻斯新論](#)』が八楢利雄に翻訳され出版。日本で初めて紹介されたリュウマチの本といわれています。

【3】 --- 製本に伴う一部雑誌の利用停止について

.....

2019 年発行雑誌を中心に製本作業を実施します。ご迷惑をお掛けしますが、何卒ご協力のほどお願いします。

◆貸出停止日：2021/12/15(水)から

◆閲覧停止日：2021/12/23(木)から※出来上がりは 2022/3 上旬の予定です。

◆対象資料：[和雑誌+洋雑誌](#)

【4】 --- 年末年始の図書館利用について

.....

◆学外からの文献の取寄せ

12/17(金)以降に”学外からの ILL 文献複写物の取寄せ”を申し込んだ場合、入手は翌年になります。なお相手館の都合により、それ以前に申し込んでも年内に到着しない場合がありますので御了承ください。

◆図書館休館日

2021/12/28(火)-2022/1/4(火)は年末年始の休館です。

※新年は 2022/1/5(水)9：00 から開館します。

【5】 --- Web セミナー 「電子ジャーナルの評価及びオープンアクセスの動向について」

.....

日本医学図書館協会近畿地区会主催のセミナーのご案内です。購読誌に代わり、年々割合が高くなるオープンアクセスジャーナル(OA 誌)に関する内容です。

大半の OA 誌は著者自身に論文掲載料(APC)の支払いが発生します。さらに早く公開するために査読期間の短い OA 誌を選ぶ傾向が増えており、今度はハゲタカジャーナルへの投稿という問題が生じています。一方では速報性を重視して査読前の論文を公開するプレプリントの動きが広がっています。

クラリベイトアナリティクス社から JCR について、エルゼビア社からは、オープンアクセス誌の動向やプレプリントサービスとの連携について、下記の日程で説明いただきます。ふるってご参加ください。

◆日時：2021/12/17(金)14:00-16:00

◆申込：不要。ただし、先着 100 名を越えると接続できなくなります。

◆参加方法：[ZOOM ミーティングに参加する](#)

[Book Review]

.....

ピエール・バイヤール著、大浦康介訳『読んでいない本について堂々と語る方法』
(ちくま学芸文庫, 2016年)

一見すると、図書館メール News の Book Review には不適切極まりないタイトル。だがその実、著者のユーモアと独特の言い回しの渦に飲み込まれ、ときにはニヤニヤ、クックッと笑わされ、ときにはハッとさせられながら読めてしまうという一品。いわゆるハウツー本ではない。ライトなタッチでも極めて理屈っぽいテイストでもなく、しかしながら、しっかりと、読書の魅力を煽らせている。

①未読についての4段階

②コメントが求められ、追いつめられる諸状況

③②に対する心構えや対応策、

といった章立てで、実際の書物を例にとり、自身の体験も交えつつ、正面からマジメに持論を展開していく。本嫌いにとっても試読の価値アリ。(T.H)

(京田辺市立図書館所蔵 [K-Libnet](#) で貸出が可能です)

KPUM Library Booklog : <http://booklog.jp/users/kpumlib>

この本のページ : <https://booklog.jp/item/1/4480097570>

.....
図書館メール News 第454号 2021.12.10 発行 (隔週金曜日発行)

編集・発行 : 京都府立医科大学附属図書館

library@koto.kpu-m.ac.jp

<http://www.kpu-m.ac.jp/k/library/>

.....
(図書館メール News のバックナンバーはこちらから↓)

<http://www.kpu-m.ac.jp/k/library/websevice/mailnews.html>